

薬連ハイライト

令和元年度臨時評議員会が開催される！

令和元年9月18日（水）、東京・四谷の会議室において、臨時評議員会が開催された。山本会長の挨拶に続き、松本衆議院議員、藤井参議院議員、とかしき衆議院議員並びに初当選を果たした本田参議院議員が挨拶を行った。

まず、重要事項報告として「令和2年度予算・税制改正要望」、「令和2年度厚労省概算要求・税制改正要望」、「改正薬機法」、「第25回参議院議員通常選挙結果」、「第4次安倍第2次改造内閣等」について執行部より説明がなされた。

次に、議案説明が行われ、執行部より「平成30年度会務並びに事業報告の件」と「平成30年度収入支出決算報告の件」が、監事より「会務並びに会計監査報告」が説明され、質疑応答の後に採決がなさ

れ、賛成多数で議決された。

続いて協議となり、次期参議院議員選挙への対応を含む今後の日薬連盟の活動について執行部より説明がなされた。平成28年度臨時評議員会において3年毎に候補者を擁立することが議案決定されていること、藤井議員が出馬要請を固辞されたことを受けて候補者の選定に入ること等の説明に対して活発な質疑応答が行われ、各都道府県からも適任者の推薦を受けることとなり、その方向で対応していくことが確認され、閉会となった。



もとゆき便り

全世代型の社会保障制度づくりへ

自由民主党政務調査会会長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



政府は全世代型の社会保障制度づくりに向けて、その司令塔となる「全世代型社会保障検討会議」を新たに設け、9月20日に第1回会合を開きました。会合には、安倍内閣総理大臣をはじめ、西村社会保障改革担当大臣や加藤厚労大臣等の関係閣僚の他、経済界や学識経験者等の有識者が構成メンバーとなって議論が進められました。

一方、与党自民党では「人生100年時代戦略本部」において、全世代型の社会保障制度のあり方の検討を行うこととなりました。岸田本部長は9月24日の戦略本部会議の冒頭で、i) 長く働くことのできる就業しやすい社会、ii) 人々の個性や多様性を尊重し、生き方や働き方により不公平のない社会、iii) 大きなリスクを皆で支える保険の原則を踏まえ、持続可能性を重視した社会保障制度の3点を原則として、検討していくことを表明しました。

また、戦略本部会議では政府から第1回全世代型社会保障検討会議の概要報告を受け、今後は社会保障に係わる関係者から広く意見を聴取したうえ、党としての考えをまとめていくことを確認しました。

社会保障費は、高齢化の進展により更に増加するものと見込まれます。誰もが将来に向けて安心して暮らせる社会を築くため、十分な議論を重ねていかなければなりません。

オレンジ日記

第200臨時国会が召集される

参議院議員・薬剤師 本田 顕子



10月4日（金）、第200臨時国会が召集されました。開会式では、天皇陛下が開会のお言葉を述べられ、その後の本会議では、安倍首相の所信表明演説が行われました。演説では、全ての世代が安心できる社会保障制度を大胆に構想することを述べられました。

さて、第200臨時国会の会期は、12月9日までの67日間とされ、議員が所属する委員会や調査会が決定されました。私は、厚生労働委員会、議院運営委員会、政府開発援助等に関する特別委員会（ODA特別委員会）及び国民生活・経済に関する調査会の委員となりました。藤井基之先生も厚生労働委員会の委員となりましたので、ご指導をいただきながら、精一杯がんばりたいと思います。先の通常国会において継続審議となっております「薬機法改正案」の審議が始まる予定であり、厚生労働省からの説明を受けるなど準備に励んでおります。

ところで、「調査会」とは解散のない参議院独自の機関で、議員の任期が6年であることに着目し、長期的かつ総合的な調査を行う目的で設けられています。

いよいよ本格的な国会での論議が始動しました。皆様の声を背中に感じながら、私らしく進んでまいります。